

資料 学術・研究活動報告 平成 26 年度

所員名 青木均教授

< 著書 >

『新流通論』〔改訂版〕青木均・石川和男・尾碕眞・濱満久、創成社、2014年4月
(第3章「消費者と流通」、第4章「小売業者と流通」、第6章「生産者と流通」、
第9章「流通の新局面」1-1, 2-2, 3-3, 4-1 担当)

< 論文 >

「地域金融機関と住宅ローンに関する選択行動」秋本昌士・近藤万峰・青木均・内田滋、『流通研究』第21号、2015年3月、1-19頁。

< 学会・研究会発表 >

「小売営業形態成立に関する研究アプローチの検討」日本商業学会中部部会、平成26年度第3回研究例会、愛知学院大学、2014年12月20日

< 研究助成 >

「金融機関のマーケティング戦略に関する実証研究」(共同研究)愛知学院大学流通科学研究
所研究助成、平成26年度

所員名 伊藤徳正准教授

< 学会・研究会発表 >

「ベドフォードの会計理論的フレームワークとサイクル論」国際会計研究学会、第31回研究大会、神戸学院大学、2014年8月26日。

所員名 内田滋教授

< 論文 >

「地域金融機関と住宅ローンに関する選択行動」(共著)『流通研究』第21号、1-19頁、
2015年3月

< 学会・研究会発表 >

生活経済学会、平成26年度中部部会(名古屋大学)、「生活経済学体系化への視点」
11月8日

< 講演 >

- 1 「金融自由化とグローバリゼーションー地域金融とのつながりについてー」愛知学院
大学公開講座『世界から日本を眺めるー国際社会における日本の役割ー』平成26年
5月31日、愛知学院大学日進キャンパス
- 2 『愛知学院大学公開講座「世界から日本を眺めるー国際社会における日本の役割ー」
において、「金融自由化とグローバリゼーションー地域金融とのつながりについてー」
を担当。平成26年6月5日、愛知学院大学名城公園キャンパス

<研究助成>

「金融機関のマーケティング戦略に関する実証研究」(共同研究)愛知学院大学流通科学研究所研究助成、平成26年度

<学術雑誌の編集員等としての活動>

『金融経済研究』日本金融学会、編集専門委員、平成26年度

<学会などにおける委員等としての活動>

- 1 生活経済学会、副会長、理事、平成25年6月～27年6月
- 2 日本金融学会、中部部会幹事、平成26年度
- 3 The Tenth International Conference on Asian Financial Markets and the First World Conference on Risk, Banking and Finance, (Tokyo Stock Exchange), Practitioners Workshop の座長を担当。1月7～8日
- 4 日本金融学会、平成26年度中部部会第2回研究会(名古屋学院大学)での座長を担当、3月7日

所員名 尾碇眞教授

<著書>

『小売業・サービス業のマーケティング』(共著)、五紘社、2015年3月

<その他>

- 1 『豊田市商店街活性化支援業務委託事業(平成26年度)個店指導に関する報告書』(共著)、豊田市産業部商業観光課、2015年3月
- 2 『豊田市商店街活性化支援業務委託事業(平成26年度)足助地区特産品開発に関する報告書』、豊田市産業部商業観光課、2015年3月
- 3 『豊田市商業活性化プラン2015-2017』(共著)、豊田市、2015年3月

<学会・研究会発表>

中山間地域の中小零細小売業活性化と買物弱者対策、日本商業施設学会中部部会(於:名古屋市西生涯学習センター)、2014年12月

<学会などにおける委員等としての活動>

- 1 日本商業施設学会中部部会、部会長
- 2 豊田市商業振興委員
- 3 豊田市都心再整備に関わる有識者会議、委員

所員名 葛西正裕准教授

<論文>

「ラベル集合の順序を用いたランク付集合ラベルのデータの記述」『地域分析』53巻2号、2015年3月

<学会・研究会発表>

「ランク付集合ラベルデータのラベル集合への関連の強さ」共同、第7回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム（第13回日本データベース学会年次大会）、電子情報通信学会データ工学研究専門委員会、日本データベース学会、情報処理学会データベースシステム研究会、2015年3月

所員名 酒井邦雄教授

<学会などにおける委員等としての活動>

- 1 日本経済政策学会第71回全国大会（神戸大学）共通論題「グローバル経済下における日本の成長戦略」座長、2014年5月24日
- 2 日本経済政策学会第13回国際会議（明治大学）第三セッション「Growth, Development and Policy」座長、2014年11月8日

所員名 佐藤倫正教授

<共編著>

1. 佐藤倫正・向伊知郎編著『ズバッ！とわかる会計学』同文館出版、2014年。

<分担執筆>

1. 佐藤倫正「企業活動と会計」第1章、1～18頁。
2. 佐藤倫正「新しい会計のフレームワーク」第5章、69～84頁。
3. 佐藤倫正「キャッシュフロー計算書」第6章、85～104頁。
上記3編いずれも、佐藤倫正・向伊知郎編著『ズバッ！とわかる会計学』（同文館出版、2014年）所収。第6章は木村敏夫氏と共著。
4. 佐藤倫正「IFRSの新概念フレームワーク」、第5章第1節、138～141頁。
5. 佐藤倫正「企業主体説と経営分析」、第5章第II、141～144頁。
6. 佐藤倫正「資金法と利質分析」、第5章第III節第2項、149～152頁。
上記3編いずれも、日本経営分析学会編『新版経営分析事典』第5章、佐藤倫正責任編集「IFRSと経営分析」税務経理協会（2015年3月）所収。

<論文>

1. 佐藤倫正「新概念フレームワークの会計主体論—IASBへのコメントレター—」『産業経理』、第74巻第3号（2014年10月）39-51頁。
2. Jeanne H. Yamamura, Michimasa Satoh, "Auditing in Japan : A Societal Dilemma," The 15th Asian Academic Accounting Association Annual Conference ,査読あり, Conference USB, 15th Conference of AAAA ,October 16, 2014.

<解説文(巻頭言)>

1. 佐藤倫正「アンソニー教授の贈りもの」『税務経理』第9340号(2014年4月18日)1頁。
2. 佐藤倫正「再び拝啓IASB殿」『税務経理』第9356・合併号(2014年6月27日)1頁。
3. 佐藤倫正「二つの成長企業」『税務経理』第9372号(2014年9月5日)1頁。
4. 佐藤倫正「インドのアジア会計学会」『税務経理』第9388号(2014年11月18日)1頁。
5. 佐藤倫正「JMISの概念フレームワーク」『税務経理』第9399号・合併号(2015年1月9日)1頁。
6. 佐藤倫正「21世紀の資本の会計」『税務経理』第9415号(2015年3月13日)1頁。

<学会発表>

1. Michimasa Satoh, "Japanese Auditing in Societal Dilemma : A Cultural Approach, " The 15th Asian Academic Accounting Association Annual Conference, October, 16, 2014, Hotel Crowne Plaza, Bangalore.
2. 佐藤倫正「アンソニーの会計思考の形成過程—序説—」非営利法人研究学会中部部会, 愛知学院大学名城公園キャンパス, 2014年10月25日。

<招待講演>

1. 「企業主体論と資金循環力」経営分析学会秋季大会第30回記念大会, 記念講演, 岐阜経済大学, 2014年11月8日。
2. 「会計が社会を変える—21世紀の資本の会計—」倉敷ロータリークラブ例会, 招待講演, 倉敷国際ホテル, 2015年2月26日。
3. 「ロバート・アンソニー—会計が社会を変える—」愛知学院大学津島市連携市民公開講座, 津島市生涯学習センター, 2014年11月22日。
4. 「ロバート・アンソニー—会計が社会を変える—」愛知学院大学秋季公開講座, 日進キャンパス, 2014年11月29日。

<司会等>

1. 日本会計研究学会133回中部部会, 竹森一正氏(中部大学名誉教授)「Francis M. Wheatによる米財務報告制度の改革」コメンテーター, 名古屋大学, 2014年7月5日。

2. 国際会計研究学会第31回研究大会, 韓国(英語)セッション司会, 神戸学院大学ポートピアキャンパス, 2014年8月26日。
3. 非営利法人研究学会第18回全国大会 統一論題「非営利法人に係る公益性の判断基準」司会, 横浜国立大学, 2014年9月10日。
4. 資金会計フォーラム東京準備大会 統一論題報告—資本に関する多面的検討—, コメンテーター, 青山学院大学, 2015年2月28日。

<学会・研究会での役職>

1. 非営利法人研究学会常任理事
2. 社会関連会計学会理事
3. 国際会計研究学会理事

<研究資金獲得>

1. 科学研究費基盤研究A「国際会計の概念フレームワークに関する総合的研究」(研究代表 佐藤倫正) 2012年4月～2016年3月。

所員名 関根佳恵講師

<論文>

- 1 「長野県北部地震被災地における農業の復興」[査読付] 『農業経済研究』第86巻第3号(pp. 216～224) 2014年12月
- 2 「長野県栄村における震災復興事業と農業—契約農業から農産加工へ—」 『地域分析』第53巻第1号(pp. 37～48) 2014年9月
- 3 「フランスにおける果実市場のグローバル化と産地の対応—ドール・フランスの果実取引を事例として—」 『愛知学院大学経済学論叢』第2巻第1号(pp. 19～38) 2014年9月
- 4 「フランス、オランダの農業・食品分野の専門職業組織—設立根拠法と組織の役割、職員の専門性—」 共著(新山陽子、高島毛敏雄、関根佳恵、河村律子、清原昭子) [査読付] 『フードシステム研究』第20巻第4号(pp.386～403) 2014年4月

<学会・研究会発表>

- 1 “Labor Relations, Neoliberal Agri-food Policies and Disasters in Japan” Research Committee 40’s Session at the 18th World Congress of International Sociological Association at Yokohama, Japan 共同、(Kae Sekine and Alessandro Bonanno) 2014年7月

<その他>

【書評】

- 1 清水純一、坂内久、茂野隆一編著『復興から地域循環型社会の構築へ—農業・農村の持続可能な発展—』農林統計出版、2013年『農業経済研究』第86巻第1号(pp.40-42)2014年6月

【依頼原稿】

- 1 「国際家族農業年が問いかけるもの 3—日本の発展途上国支援と家族農業—フィリピンの無農薬バナナ産地から考える—」『文化連情報』440号(pp.24-27)2014年11月
- 2 「食に対する姿勢の日仏比較」『農業と経済』80巻10号 (pp.105-110)2014年11月
- 3 「小規模家族農業を見直し発展させる農政へ転換を」『中小商工業研究』121号(pp.29-39)2014年10月
- 4 「フランスの中産間地域農業の動向—家族農業と地理的表示保護制度—」『農業と経済』80巻8号(pp.104-105)2014年9月
- 5 「国際家族農業年が問いかけるもの 2—日本の家族農業—オルタナティブな農業へ—」『文化連情報』437号(pp.34-38)2014年8月
- 6 「国際家族農業年が問いかけるもの 1—見直される小規模な家族農業の役割—」『文化連情報』436号(pp.34-37)2014年7月
- 7 「家族農業が世界を養う」『農民』70号(pp.50-56)2014年5月

<研究助成>

- 1 日本学術振興会科学研究助成費(基盤S)(2011~2014年度)
「食品リスク認知とリスクコミュニケーション、食農倫理とプロフェッションの確立」
(代表:新山陽子)
- 2 株式会社オルター・トレード・ジャパン委託研究(2014年度)
「フィリピンにおけるバナナ生産及び流通の課題」

<学術雑誌の編集員等としての活動>

- 1 日本農業市場学会 学会誌『農業市場研究』編集委員

所員名 田中秀夫教授

<著書>

- 1 『スコットランド啓蒙とは何か』ミネルヴァ書房、2014年
- 2 『野蛮と啓蒙—経済思想史からの接近』編著、京都大学学術出版会、2014年

<論文>

- 1 Tanaka Masaharu(1925-2000)-His Economic Study and Thought in Historical Contexts , *The History of Economic Thought*, The Japanese Society for the History of Economic Thought, 55-2, pp.1-19, 2014.1

- 2 「トマス・ホリスとアメリカ革命」愛知学院大学経済学部『経済学研究』第1巻第2号、
2014年3月

<学会・研究会発表>

「トマス・ホリスとアメリカ革命」ヒュームとスミスの会、東洋大学、2014年3月28日

<学会などにおける委員等としての活動>

- 1 学会セッション組織者、社会思想史学会、2014年10月26日、神戸大学
セッション「啓蒙の多様性と多元性—最近の研究動向から」
- 2 日本イギリス哲学会 理事
- 3 Corresponding Fellow of the Royal Historical Society
- 4 Advisory Editor, The Enlightenment World, Pickering and Chatto.
- 5 京都大学学術出版会、近代社会思想コレクション、編集委員

所員名 玉井金五教授

<論文>

- 1 「人口問題からみた日本社会政策論史—南亮三郎を手掛かりに—」(杉田菜穂と共著)『経済学研究』2巻1号、2014年9月
 - 2 「戦前日本社会政策論史の転換点—福田から大河内へ—」(杉田菜穂と共著)『経済学研究』2巻2号、2015年3月
 - 3 「リベラリスト・近藤文二と日本社会保険制度史」『甲南経済学論集』55巻3/4号、2015年3月
 - 4 「日本社会政策思想史上における経済と社会」社会政策学会編『社会政策』6巻3号、2015年3月
(最終講義録)
- 「社会政策研究・教育40年」『経済学雑誌』115巻3号、2015年2月

<書評>

『世界はなぜ社会保障制度を創ったのか』田多英範編著(ミネルヴァ書房、2014年)『海外社会保障研究』No.189、2014年12月

<学会・研究会発表>

- 1 「日本社会政策思想史上における経済と社会」社会政策学会第128回全国大会、中央大学、2014年5月
 - 2 「社会政策研究40年」社会政策学会東海部会、同朋大学、2015年2月
(シンポ報告)
- 「大正期大阪の<都市>社会政策—地域史からの教訓—」信州大学大学院経済・社会政策科学研究科シンポ「地域における協働の未来」、信州大学(松本)、2014年10月
(国際会議報告)

- 1 「日本における社会保険思想—近藤文二の所説から—」第10回日中韓社会保障国際会議、中国人民大学（北京）、2014年9月
- 2 「日本における社会保障改革思想の潮流」華東師範大学・社会保障国際会議、華東師範大学（上海）、2014年11月

所員名 中澤優介講師

<論文>

- 1 「アカウンタビリティの「開かれ」—会計をめぐる暴力と解放の視点から—」、神戸大学大学院経営学研究科博士論文、2015年1月
- 2 「アカウンタビリティが開かれるとき —関市国保藤沢病院の事例に見るアクターの複数性—」（共著）『国民経済雑誌』第210巻、第1号、101-119頁、2014年7月

<学会・研究会発表>

- 1 「多面的業績評価の可能性—アカウンタビリティの視点から—」、日本社会関連会計学会第27回全国大会（関西大学）、2014年10月4日
- 2 「The Openness of Accountability: Pluralism of Principle-agent Relations at Fujisawa Municipal Hospital」、メルコ学術振興財団管理会計特別セミナー若手研究者対象英語論文作成指導ワークショップ、立命館アジア太平洋大学、2015年2月10日。

所員名 中野健秀准教授

<論文>

- 1 「サービス産業における付加価値の定義とその特徴」中野健秀・清水 真・尾碕 眞・渡邊隆俊、愛知学院大学流通科学研究所所報 2015, (21), 43-61頁
- 2 「授業応答システムを活用した双方向授業(データベース論)の実践報告」中野健秀、PCカンファレンス論文集 2014、16-19頁
- 3 「グラフィック出力を備えたWebブラウザベースのプログラミング実行環境」田村謙次 鳥居隆司 中野健秀 杵淵信 安藤明伸 川崎直哉 大岩幸太郎 古金谷博、PCカンファレンス論文集 2014、20-23頁

<講演>

「四国公道沿いの津波避難に関する設置・掲示物の現状—歩き遍路の視点から—」温泉地学研究所講演会、2014年3月10日、神奈川県温泉地学研究所

所員名 中山重穂教授

<学会・研究会発表>

- 1 「財務諸表の構成要素と不確実性」日本経営分析学会第55回中部研究部会、愛知学院大学、2014年8月7日

- 2 「2013年IASB討議資料『「財務報告に関する概念フレームワーク」の見直し』に対するコメントレターの検討」国際会計研究学会第31回研究大会、神戸学院大学、2014年8月26日
- 3 「IASB概念フレームワークにおける質的特性の位置付け」ワークショップ「国際会計研究会」、南山大学、2015年3月13日

所員名 水野伸昭教授

<論文>

「地域銀行の内部監査と企業価値」『経済科学』第62巻第1号、31-43頁、2014年6月（査読付）

所員名 宮原教授

<講演>

「消費者をめぐる経済の本質」名古屋市消費生活センター主催(2014/9/5)、消費生活講座講師

所員名 吉田文和教授

<著書>

- 1 『脱原発と再生可能エネルギー』北海道大学出版会、2015年2月、360頁
Green Growth and Low Carbon Development in East Asia, Routledge, 2015, p.216. (edited with Akihisa Mori)
- 2 『持続可能な未来のためにII』北海道大学出版会、250頁、2014年4月（荒井眞一・佐野郁夫との共編著）

<論文>

- 1 「バイオガスプラントの環境経済学的評価——北海道鹿追町を事例として——」吉田文和・村上正俊・石井努・吉田晴代、『廃棄物資源循環学会論文誌』, Vol. 25, pp. 57 - 67, 2014. (査読論文)
- 2 「海外の熱電併給(CHP)制度調査報告—ドイツ・デンマークを中心に—」吉田文和・佐野郁夫・荒井眞一、『人間と環境』第40巻第3号、2014、53-58頁. (査読論文)

